台東区
入退院時情報連携シート コラム

平成３０年１０月号

○入退院時情報連携シートの活用事例紹介

「入院前後で ADL の変化にスムーズに対応し、退院後の必要な準備が出来た」

患者：８０歳代　要介護○　認知症あり
⇒入院後は、認知機能の低下と廃用性の進行により、起き上がり、食事、排泄を自力で行うことが難しくなってきた。

◎連携シートによる情報提供及び連携したことで良かった点

病院側が入院前の本人の生活状況を把握できていなかったため、連携シートの提出により入院前との状態の変化を早期に伝えることができ、病院担当者とケアマネジャーが共通の認識のもとで、退院後の介護サービスの調整(事前準備等)ができた。

◎担当ケアマネジャーの感想

連携シートを提出することで、病院の担当者と面接する機会も増えるため、顔の見える連携ができ、病院(医療機関)との連携のしやすさにもつながっていると感じました。

○連携シートを提出する際のポイント

◎早期に連携シートを提出できるように事前準備をお勧めします。

連携シートの 1 ページ目、「シート作成元（事業所情報）」「Ａ 基本情報」などの項目は事前に記載(入力)しておくことで、連携シートを作成する時間を短縮できます。

◎連携シートの提出をきっかけに、病院担当者と連携する機会を作ってください。

病院担当者は、患者さんの入院前の生活状況を把握しているケアマネジャーさんとの連携(情報提供)を必要としています。患者さんの退院後の安定した生活に向けて、病院との連携の１つのツールとして、是非連携シートをご活用ください。

○入退院時情報連携シートの手引きを修正しました

介護報酬改定に伴い、入退院時情報連携シートの手引きを修正しました。
区ホームページ（【暮らしのガイド】⇒【病気と医療】⇒【病院・医療機関のご案内】⇒【台東区 入退院時情報連携シート】）に掲載しておりますので、ご覧ください。

◎修正内容

・FAX での情報提供の際の注意点について
・転院時のシートの取り扱いについて　など

(発行)　台東区 健康課 医療連携担当　電話: (5246) 1215